

戦争を許さない女たちのJR連絡会



いのち輝く

わたちのピーストレイン

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 JR総達内 ☎03-3491-7191 JR 057-4596

えん罪・布川事件再審 無罪判決おめでとう！ 43年の闘いで、ついに勝利！

5月24日、水戸地裁土浦支部神田大助裁判長は「再審・布川事件」で無罪の判決を言い渡しました。29年間の獄中生活、そして仮釈放の身であった桜井昌司さんと杉山卓男さんが本当の自由を手にした瞬間でした。長く厳しかった43年の闘いが報われ、2人は多くの弁護団・支援者とともに大きな喜びの渦に包まれました。

「女たちの会」は、故・佐藤ゆり子前代表の時から「JR浦和電車区事件」とともに「布川事件」の勝利を確信し、支援してきました。判決の日、支援者の皆さんと一緒に勝利を祝福したいと思い、私も裁判所の前に立ちました。勝利の瞬間を現地で迎えることができたのは大きな喜びでした。



雨も止み支援者に見送られて笑顔で法廷に向かう

全面可視化、全証拠の開示を求め、闘いは続く



桜井さん

「判決に不満はいっぱいある。裁判所が検察に気をつかうから、ますます検察を増長することになる。全証拠が開示されていれば、一審で無罪だったはず。警察でも検察でも、誰でも間違ったら責任を取ってもらいたい。私はえん罪で苦しんでいる人の気持ちが解るから、仲間のためにもっと大きい声をあげなければと思います」(桜井さん)

「メディアは警察から情報をもらってそのまま垂れ流しているだけ、いまの原発報道のやり方と同じだ。メディアにはそのことを反省してもらいたい。呼んでいただければ何処へでも行って自分の体験を話したい」(杉山さん)

43年間無実を訴えて闘い、やっと勝利を手にしたお二人。失った日々は取り戻せませんが、二人はこれからも冤罪をなくすために、全証拠の開示や取り調べの全面可視化などを求め闘い続けることでしよう。桜井さん、杉山さん、長いあいだ本当にお疲れ様でした。



杉山さん

五月二四日
雨が泣き、雪冤「布川」洗い出す
美世志会 大淵 慶逸

つなげよう！JR浦和電車区事件の勝利へ えん罪事件をなくす日まで！

布川事件は、再審の厚い壁を打ち破り大きな勝利をおさめました。この勝利を他の冤罪の勝利につなげましょう！そしてJR浦和電車区事件上告審で美世志会の無罪判決をかちとろうではありませんか。(S-T)

ハルモニたちとともに日本軍「慰安婦」問題の解決を訴える

9条連主管・韓国「水曜デモ」

9条連は今年で4回目となる韓国「水曜デモ」を主管し日本軍「慰安婦」問題の解決を促進するため、5月10日から12日まで韓国への旅を実施しました。この取り組みに「女たちの会」とJR東労組鉄道業女性協議会のメンバーも参加し、ハルモニたちとの交流をはじめ日本大使館前での「水曜デモ」、韓国挺身隊問題対策協議会とのさまざまな意見交換など、出会い・学び・考え・行動する有意義な3日間を過ごしました。今回はじめて韓国を訪れた女性協議会の仲間の感想をいただきました。



ソウルの日本大使館前で行われた969回水曜デモ（5月11日）

ハルモニたちの思いを胸に…

日本軍「慰安婦」問題をどれだけ日本人が知っているのでしょうか。「1000回近いデモをしているのに日本大使館は見ようとしなない。日本人は知ろうとしなない。」ハルモニの言葉が胸に刺りました。誰だって戦争は二度と起こしてはならないと思っ

ているはず。私もそうです。しかし、歴史の真実を見ようとも知ろうともしないで戦争反対と言っても何も変わらないことをハルモニに教えてもらいました。終戦後、慰安婦から解放されても日本政府の公式謝罪と法的賠償が無いままハルモニたちの苦しみは続いています。「年をとっても女としては辛いから話したくない。しかし、平和な社会を創りたい。未来の子供たちを不幸にたくないから、恥さず話すことが自分の責任だ」と語ってくれました。

この思いを受け止めて、いま私に出来ることは、真実を仲間に伝えること、過去の歴史を正しく理解し、過ちを繰り返さないためにハルモニたちと共に解決する仲間をつくることです。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、水曜デモでは9条連をはじめ、挺対協・ICLS・韓国の学生など、多くの団体が集結し、連帯し、大きな力を生み出すことが実感出来ました。各団体のつながりで世界各国の労働組合との連帯が広がっています。その輪が日本軍「慰安婦」問題の解決の力になることを祈っています。

ハルモニたちは3月11日の大震災の犠牲者のために追悼デモや募金をしてくれました。辛い思いをした分、他人の辛さもわかってくれる優しいハルモニたちです。そんなハルモニも高齢者ばかり。生きているうちに一日も早く日本政府に過ちを認めさせ、謝罪させ、心から笑える日が来るように私も奮闘します。

(M-S)

真実を発信し伝え続けたい

共同生活の家「ウリチブ（我が家）・ナナムの家」(分かち合い)に住むハルモニたちとお会いしました。笑顔で迎えていただき、その笑顔の裏にある生々しい過去を聞くまでは、落ち着いているのかなと思えるほどでした。

「70年以上胸を痛めている」「死ぬまでこの傷は残っている」「人が憎いのではなく、日本政府が憎い」「再び戦争を起こさず、平和な世界を。同じような人(慰安婦)を生まないように…」とお話をするハルモニは怒りの顔でした。事前学習のDVDで「一日何人入ってきたかわからないほどの数だった…」という言葉。いろいろ頭を巡りました。私は胸が苦しくなり、なぜ70年以上も苦しみ続けなければならないのか。日本国民として恥ずかしい、と日本政府の対応に怒りを感じました。

ハルモニたちの立場に立って参加した「水曜デモ」。日本大使館前には多くの賛同団体・学生でいっぱいになりました。韓国語のシュプレヒコール。「サジェハラ！（謝罪せよ！）」と3回繰り返し、拳をつきあげ訴えました。しかし、日本大使館の門は閉まったまま。もっと多くの人に真実を発信しなければと、気持ち新たに行動することを決めました。

大震災後、「水曜デモを追悼デモに。募金を」と提案してくれたハルモニのあたたかい気持ちとうれしかったし、痛みを知っているからこそできる行動だと思いました。ハルモニたちは高齢で、名乗りでくれた234名のうち生存しているのは73名(※)。一日も早い解決が求められます。日本政府は犯した罪を認め、ハルモニたちへ謝罪・賠償し、本当の歴史を教育しなければならなりません。私たちに出来ることから発信し、伝え続けるために真実を見極める力をつけていきます。

(A-S)



※ 帰国後あいついで2名のハルモニが亡くなられ、71名となってしまいました。ご高齢のハルモニにはもう残された時間が少ないことを、つきつけられました。

原発はいらない!

福島第一原発事故によって、「クリーンで安全」とされてきた安全神話が大きく崩れ、地震列島に54基もの原発が存在することの危険性が改めて浮き彫りになりました。原発事故は人災です。それは人間の手で防がなければなりません。事故から2か月以上過ぎても、正しい情報が伝えられず、危険な状況は続いています。放射能による環境汚染も止まりません。この国がこれ以上原発依存を続けるなら、放射性汚染物質を何十万年もの将来にわたり封じ込め、管理し続ける責任があるはずです。しかし、それは人類の未来を奪う無謀な選択であり、その責任を誰が持てるのでしょうか。

9.11とは違うけれど、3.11を境に何か世界が変わりました。いつも不安がつきまわっています。でも、「平和」

今、声をあげなければ!

エンジェルは、4月10日と24日の原発反対市民集会・デモに参加しました。

集会の中で、今春大学に入学し高校時代から原発反対運動をしている女子大生が「菜の花運動」を続けている報告をしていました。「菜の花はセシウムやストロンチウムの吸収能力があり、現実にはチェルノブイリ原発事故の汚染地域で栽培されている」とのことでした。自然は凄いですね!

集会やデモには、若い人たち、幼い子供を連れて参加している家族もいました。若い世代の人達は生まれたときから原発の便利さの中で当たり前のように育ってきています。その若者達が頑張って反対と訴える姿を見聞きし、希望を持つことができました。

何かあったらすぐ発信し、行動できるのが私たちエンジェルの良いところです。今、声をあげて訴えていかなければこの日本に安全に住むことが出来なくなってしまう、子ども達の未来もありません。「原発は安全だ!」と報道していますが、何が安全でしょうか!現場で働いている人や小さな子どもが被曝しているではありませんか。本当に怒りを感じます。皆さんと供にエンジェルも子ども達の未来と自然を守るために頑張って行動していきたいと思っています。

(エンジェル M・N)



子どもたちに明るい未来を



4月24日「つくりかえろう!原発安全社会」つくりかえろう!原発安全社会

や「安全」は、自らが行動してつくるものだと私たちは学んできました。次の世代に平和で安全な社会を残せるよう、子どもたちを放射能から守りたいと強く思います。この世で一番大切ないのちを守るために、ともに声をあげましょう。



生まれる子どもの母として

初めての出産を控え、栄養管理をちゃんとしなくちゃとか、赤ちゃんのために何を揃えたいのか、胎教は何をしたらいいのかしら?などと考えていたのですが、福島原発事故を境に悩む内容が変わってしまいました。水は安全なのか、この野菜は買っていいのか、自分ほどのくらい被曝しているのか、ここに住み続けても大丈夫なのか?日々考えなくてははいけなくなりました。

胎児や乳児、子どもの放射能の感度は、大人と比べて3~10倍と高く、がんの発症率も高くなると言われています。母親は、子どもを危険から守りたいと思っても、どうやって守ってあげられるのかわかりません。水道水が何バケルで、ホウレンソウが何バケル、牛乳が?放射性ヨウ素?セシウム?全て調べるのなんて難しいのです。国は基準値をあげて、地産地消を推奨し、「ただちに健康への影響はない」と言います。

4月、福島と関東地方の女性の母乳から放射性物質が検出されました。「微量だから乳児に影響はない」なんてあまりにもひどいと思いました。母乳が汚染されたお母さんはどうすればいいの?その気持ちを考えてほしいのです。

いままでは食べ物の規制値や、放射線量を知らなくても安心して生活できました。でも原発が一度壊れてしまったら、人間の手に負えなくなるほど怖いものだと思ってしまうほど、多少不便になっても、原発よりコストがかかっても、クリーンなエネルギーで、安心して暮らせる土地であることが一番だと思うのです。

(T・I)



沖縄平和研修に参加

5月14日から16日、JR総連5連協沖縄平和研修に参加しました。梅雨に入った沖縄は、照りつけるような暑さもなく、どんより曇った空は普天間基地移設の解決の方向性がまったく見えない現状を象徴しているかのようでした。ガイドをしてくださった狩俣さんや、元白梅学徒隊の中山さんの講演、糸数壕の中でガイドさんなどから、平和についての様々なお話を聞くことができました。実際にその時を生きてこられた方の証言を聞き、壕の中で、その場にとって体感し、66年前は決して遠い過去ではないことを実感しました。また、過去の反省から、戦争放棄をうたった憲法を変えようとする動きがあることに、本当に許せない思いでいっぱいでした。

「沖縄を見れば日本がわかる」ということを狩俣さんから聞きました。戦争を放棄しながら基地があるという矛盾、基地に「思いやり予算」という名で私たちの税金が使われていること。私たちは、沖縄を自分の問題として考えていかなければならないと思います。そのことを通じてしか、日本の基地撤去を実現することはできないと思います。(R.Y)



©HIRUTA

復興にむけ立ちあがろう！ 第9回浦和電車区分会家族会総会



「女たちの会」とエンジェルは、5月21日に浦和電車区分会家族会にご招待いただき、総会に参加してきました。多くのお子さんたちでにぎわう、とても明るい総会でした。はじめに仙台地本が作成した東日本大震災のビデオを全員で見て、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。家族会から「私たちにできること」としてカンパの提起があり、総会内でカンパが集められました。家族会森田会長からは、昨年6月16日は「忘れられない1日となった」と、家族会での最高裁要請行動にふれ、浦和電車区事件への思いが伝えられました。

今年は課題が盛りだくさんですが、私も家族会の方々と共に頑張っていきたいと思います。(E.H)

映画「10000年後の安全」を観て

朝テレビをつけたら原発のドキュメンタリー映画の紹介をしていて、「10万年」という言葉が耳に響き、ネットで調べてすぐに観にきました。この映画は、強固な岩を削って地下500メートルに巨大な貯蔵施設を建設し、放射性物質を10万年間貯蔵するというフィンランドの国家プロジェクトを描いていて、これを決定した専門家たちに未来の子孫の安全性について問いかけているものです。原発から生まれる放射性廃棄物の放射能レベルが生物に無害になるまでには最低10万年を要すると考えられているそうです。10万年なんて想像もつかない年月なのに、そんな先に誰も安全を保障出来ないのです。日本では54基もある原発から出る放射性廃棄物の最終処分場の場所さえも決まっていません。

今回の福島第1原発の事故で、これから緑豊かな美しい季節を迎えるのに、目に見えない放射能によって生まれ育った故郷から離れなければならない福島の人達のことを考えると胸が痛しい、とても他人事とは思えません。報道だけに感わされず色々なものから現実を知り「原発なくそう！」の声を上げたいと思います。

(エンジェルK-S)



布川事件ドキュメンタリー映画

「ショージとタカオ」がおすすめ

布川事件の無罪判決の日、映画を製作した井手洋子監督にインタビューしました。



「無罪判決は本当に良かったけれど、桜井さん・杉山さんと布川事件のことを、これからもずっと記憶し続けなければならないと思います。映画を通して、事件のことや44年間無実を訴え苦しんできた2人のこと、その驚きや怒りを、多くの人々が記憶し続けることが大事だと、この映画をつくって尚更そう思いました。ぜひ皆さん観てください。」

※「ショージとタカオ」は「キネマ旬報ベストテン文化部門第一位」に輝き、このたび「日本映画批評家大賞ドキュメンタリー作品賞」の受賞も決定しました。井手監督おめでとうございます！